

別紙1-1

論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※ 乙 第 号
------	---------

氏 名 松下 まどか

論 文 題 目

The Smart Life Stay (SLS) program: effects of a lifestyle intervention program in combination with health tourism and health guidance for type 2 diabetes

(スマート・ライフ・ステイ・プログラム(The Smart Life Stay program):ヘルスツーリズムと保健指導のコンビネーションによる2型糖尿病患者への生活習慣介入効果)

論文審査担当者

名古屋大学教授

主 査 委員

室原豊明 

名古屋大学教授

委員

葛谷雅文 


名古屋大学教授

委員

平田 仁 

名古屋大学教授

指導教授

有馬寛 

論文審査の結果の要旨

別紙1-2





今回、糖尿病及びそのハイリスク群に対し特定保健指導積極的支援をコアプログラムとした、ヘルスツーリズムと保健指導のコンビネーションによる新しい生活習慣介入プログラム、スマート・ライフ・ステイ・プログラムを開発した。公募により選出した全国23医療保険者において介入試験（介入群792名、対照群3645名）を実施し、特定健診を用いて2年後の介入効果を検討した。介入群は対照群に比較し体重、Body Mass Index、腹囲、空腹時血糖、HbA1cが有意に改善した。本プログラムにより糖尿病や糖尿病ハイリスク群に対し体重減少や血糖降下作用が2年間継続することが示唆された。また、本プログラムは健康への寄与のみならず地域活性化の効果も期待される。

本研究に対し、以下の点を議論した。





1. 本研究は Randomized Control Trial ではなく、ベースライン時のモチベーションは対照群に比較し、介入群で有意に高かった。そこでモチベーションを含めた生活習慣・検査数値から Propensity Score を算出、逆数重みづけ法を使用して解析を実施した。それによりベースラインのモチベーションの偏りはできる限り補正されていると考えられる。
2. 対照群には過去に特定保健指導を受けている者も含まれている。また本研究の参加施設は被保険者に対する健康意識が高く、独自の生活習慣介入を事前に実施していた可能性もある。そのような対照群設定、参加施設においても有意な改善効果が認められたことから、本プログラムの体重減少や血糖降下作用の効果はより高い可能性がある。
3. 服薬の有無は特定健診で実施される標準問診からの情報となるため、服薬内容や力価についての情報は無く、本プログラムの服薬へ及ぼす効果については検討が困難であった。ただし、プログラム前あるいは後に服薬ありと答えた者は約10%、両者を除外して解析した結果も本プログラムの効果に大きな差を認めなかったことから服薬の影響は少ないと考えられる。
4. 本研究は、コア・プログラム以外についてはスタッフ数、宿泊環境等に応じ参加施設の裁量に任された。そのため多種類のプログラムが実施された。プログラム間の効果の違いについては今後症例数を増やし検討するべき重要課題と考えられる。本研究は糖尿病及び糖尿病ハイリスク群に対する新しい生活習慣介入法を確立する上で重要な知見を提供した。

以上の理由により、本研究は博士（医学）の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。

試験の結果の要旨および担当者

報告番号	※ 乙 第	号	氏 名	松下 まどか
試験担当者	主査	室原豊明 	副査 ₁	葛谷雅文 
	副査 ₂	平田仁 	指導教授	有馬寛 
(試験の結果の要旨)				
<p>主論文についてその内容を詳細に検討し、次の問題について試験を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ベースライン時の介入群・対照群間のモチベーションの違いについて 2. 対照群のプログラム前における生活習慣介入の有無について 3. 本プログラムの服薬への影響について 4. プログラム間の効果の違いについて <p>以上の試験の結果、本人は深い学識と判断力ならびに考察力を有するとともに、糖尿病・内分泌内科学一般における知識も十分具備していることを認め、学位審査委員合議の上、合格と判断した。</p>				

学力審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※ 乙 第 号	氏 名	松下 まどか
試験担当者	主査 室原豊明  副査 ₁ 葛谷雅文  副査 ₂ 平田 仁  指導教授 有馬寛 		
(学力審査の結果の要旨)			
<p>名古屋大学学位規程第10条第3項に基づく学力審査を実施した結果、大学院医学系研究科博士課程を修了したものと同等以上の学力を有するものと学位審査委員合議の上判定した。</p>			